

かたの



R4. 5.27
形埜小学校
校長室だより

「本番は、練習通り！」（——と、胸をはって言える「練習」ができていましたね）

「練習は本番通り、本番は練習通り」を合言葉に頑張ってきました。明日は、いよいよ本番です。今日の練習の時に前期のスローガン「笑顔・協力・挑戦」に関わってお話をしました。一つ注文しましたね。

「自分が笑顔になることはもちろん、家族の笑顔をGETするために大切なこと」

「〇〇した場合、その後、あなたはどうしますか？」ちょっと考えておいてくださいね。



みんなの笑顔のために



入退場門が、かっこよくなりました。紅白の棒の根元に「お山」ができています。この「お山」は、学区の■■■■さんと社教委員長の■■■■さんが準備してくださったものです。杉の枝も山から伐採し、トラックいっぱい準備してきてくださいました。教頭先生と大盛先生が、「作り方」を伝授されて挑戦してみたのですが、学区のお二人のように左右バランスよく、お山の形よく、見栄え良くすることは、簡単なことではなかったようです。そんな大変な作業を「子供の笑顔のためなら」とみんなの下校後やってくださったんですよ！

この「杉(すぎ)のお山」にはこんな意味があるのです。↓

杉(すぎ)の語源は、成長が早く長寿の大木であることから、「スクスクと生える木」です。子供の成長を願うという意味がまずあります。それから杉は神聖な樹木とされ、高くそびえるので、そこに神が降りてくるという思想もありますので神社にもよく植えます。それに杉の葉や板などからは、優れた香りがあり、邪気を消すともいわれました。ですから杉の葉を酒蔵に飾って酒を邪物から防いだともいいます。また日本最古、最大の出雲大社本殿(国宝)も杉の板と杉の柱だけで作っており、これも悪いものを防ぐ働きがあるとされています。それに杉の葉を粉にして線香にしても、これも悪霊を避ける働きがあると言われます。いずれにしても、学校などに「杉門」を設置する例がありますが、これは、杉のもつ意味や歴史や習俗などにより、子供達が安全で元気にすくすく育ち、また邪気を避けるという意味があるのです。(インターネットより)

保護者の皆様へ

3年ぶりに「学区の皆様とともに」つくる運動会を開催できます。ワクワクと同時に不安もあります。学区合同の運動会を経験している教職員が4分の1という状況です。力と心は尽くしますが、至らぬ点も多く予想されます。明日もお気づきのことがありましたら、ご意見いただきますようお願いいたします。子供はもちろん、保護者・学区の皆様も笑顔も広がる時間になりたいと思っています。